



www.alpajapan.org

日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

Date 2003.07.09 . No 26 - 85

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5 - 11 - 4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

東京工業大学

工学部授業に講師を派遣しました

本年5月21日及び28日の二日間、東京工業大学工学部総合科目「現代科学～技術と安全性」の講師として、館野洋彰事故対策委員長と塚越洋司事故対策委員を日乗連から派遣しました。

この講義は毎年行われているもので、航空以外の分野からは原子力、化学や薬学の安全管理担当者等が外部講師として招かれ、今年で6回目となります。今回の私達のテーマは、「航空事故調査の立場から見る社会と安全」で、その内容は.....

- 第 章 世界の民間航空における安全水準
- 第 章 我が国における「航空事故調査の実態と問題点」
- 第 章 犯罪捜査の実態と弊害
- 第 章 - 規制緩和と安全
- 第 章 事故報道とマスメディアの問題
- 第 章 社会システムと安全

その他ハイテク機の抱える問題や安全報告制度の問題なども取り上げました。

講演両日とも200名を越える学生が熱心に聴講し、数多くの質問が寄せられました。特に航空の安全基準に関しては「現場のパイロットがそこまで深く考えていたとは知らなかった」等の意見が寄せられた反面、民放テレビの影響で、パイロットの生活実態についての質問もあり、「華やかに写るかもしれないがその実態は大変地味な仕事」と説明し締めくくりました。

航空安全の問題は、広く社会に理解してもらう事が大切です。今後もこのような機会を捉え、航空安全を社会全体の問題として考える取り組みを続けていく事は大変重要な事と言えます。

